

令和4年度

第1回徳島県読書バリアフリー推進協議会

別冊資料

資料①	読書バリアフリー推進事業について	p 1
資料②	令和3年度事業報告	p 2
資料③	令和3年度成果指標報告	p 6
資料④	令和4年度の事業計画及び進捗状況	p 9
資料⑤	その他関連事業について	p 10
資料⑥	【全国視覚障害者情報提供施設協会HPより】 サピエ図書館PRチラシ（動画の紹介）	p 12
資料⑦	【文部科学省】 学校図書館における読書バリアフリーコンソーシアム 「進めよう、豊かな読書活動」ウェブサイトについて	p 14

- ※別添資料
- ・「バリアフリー図書セット」チラシ
 - ・「図書館サポーター養成講座」チラシ
 - ・「高校生のための音訳・点訳講習会」チラシ

令和4年9月16日

徳島県教育委員会生涯学習課

資料① 読書バリアフリー推進事業について

【目的】

令和3年7月に「徳島県読書バリアフリー推進計画」を策定した。

本計画における3つの基本的な施策の方向に基づき、視覚障がい、発達障がい、知的障がい、上肢障がい等により、活字による読書や図書館利用が困難な方々の読書環境を整備・充実させることによって、障がいの有無に関わらず、全ての県民が等しく文字・活字文化の恵沢を享受できる社会の実現に向け、関係機関と連携して事業に取り組む。

【事業委託先】

社会福祉法人 徳島県社会福祉事業団 視聴覚障がい者支援センター

※厚労省補助事業

「地域生活支援促進事業（地域における読書バリアフリー体制強化事業）」活用

【事業内容】

1 アクセシブルな書籍等の充実及び製作人材の育成・確保

高等学校での音訳図書製作体験

音訳図書等の製作を担うボランティアの高齢化及び新規人材の育成が課題となっていることから、高等学校放送部等において、作成したデイジー図書を視覚障がい者等に利用していただくことを目途に、音訳図書の製作体験を実施し、若年者の製作人材育成を図る。

2 アクセシブルな書籍等の入手及び利用のための支援

公立図書館等における読書支援機器・バリアフリー図書の利用促進

視覚障がい者等の活字による読書が困難な方々が、読書支援機器や様々なバリアフリー図書を利用して読書に親しむことができるよう、公立図書館等にデイジー図書再生機器及びバリアフリー図書セットの貸出体制を整備し、広く県民の皆様に体験していただくことで、様々な障がいの方に利用いただけるよう取組をすすめる。

3 読書を支援する環境の充実と人材の養成

公立図書館等職員研修

視覚障がい者等が身近な地域の図書館を利用しやすい環境づくりを図るため、公立図書館等職員を対象に、読書支援機器・端末機器の操作方法、障がい特性に応じた読書媒体や支援ツールの知識、サピエ図書館の利用方法等の、障がい者サービスの知識習得のための研修を行うとともに、点字図書館や公立図書館等の連携体制を構築する。

1 高等学校での音訳図書製作体験

実施期間：令和3年12月1日（水）～令和4年1月30日（日）

・平日：16:40～17:40 1時間 全6回

・土日：9:30～11:30 2時間 全3回 計9回（全12時間）

会場：徳島県立障がい者交流プラザ2階 視聴覚研修室等

体験者：城北高校放送部員5名

講師：視聴覚障がい者支援センター 平田 清美所長、伊澤 深雪支援員
音訳ボランティア 笠井 省宜氏

製作図書：芥川龍之介『桃太郎』（青空文庫）

1	令和3年12月1日（水）	録音図書について	プレクストークの操作方法
2	令和3年12月3日（金）	製作時の注意点	音声表現・録音編集技術
3	令和3年12月10日（金）	録音ソフトの操作方法①	デイジー図書録音ソフト
4	令和3年12月12日（日）	録音ソフトの操作方法②	「PRS Pro」
5	令和3年12月17日（金）	録音・修正作業	1冊を5人で分担して録音
6	令和3年1月8日（土）	修正・校正作業①	自分で校正表に記入し、修正
7	令和4年1月14日（金）	修正・校正作業②	別の音訳者の分を校正、修正
8	令和4年1月19日（水）	修正・校正作業③	5人分を結合
9	令和4年1月30日（日）	最終確認、CD製作完了 講評	点字図書館利用者の方と一緒に聞き、講評していただいた。

※その他、12月24日（金）・1月7日（金）10:00～12:00の2回、「マルチメディアデイジー製作ボランティア養成講習会」（オンライン）にも参加した。



2 公立図書館等における読書支援機器・バリアフリー図書の利用促進

内 容：デジター図書再生機器等の読書支援機器の整備

(1) 公立図書館職員研修会等への貸出

(2) 公立図書館等への展示及び体験用として貸出

貸出対象：公立図書館、学校図書館、特別支援学校、福祉施設等

【令和3年度貸出実績】

(1) 研修会等への貸出

① 「第1回公立図書館等職員研修会」への貸出 (詳細は次の項目で説明)

② 「図書館サポーター養成講座④」(ひろがる読書推進事業)への貸出

日時：令和3年10月17日(日) 13:00～15:30

場所：徳島県立総合教育センター 3階 研修室1

参加：読み聞かせボランティア、教員、特別支援教育支援員等 22名

内容：「視覚障がい等のある児童生徒への読書支援」

講師：視聴覚障がい者支援センター主任支援員 三井 貴浩氏

(2) 公立図書館等への貸出

14台貸出

(徳島県・徳島市・小松島市・阿南市・吉野川市・阿波市・美馬市・三好市・美波町・松茂町・東みよし町・北島町・海陽町)



3 公立図書館等職員研修 年2回開催

①第1回

日時：令和3年11月18日（木）10:00～15:00

場所：徳島県立障がい者交流プラザ 3階 研修室

参加：図書館職員及び市町村教委 12名

内容：午前「デイジー図書再生機器プレクストークの操作方法について」

講師：シナノケンシ株式会社 伊藤 春樹氏（オンライン）

- ・一人ずつ実機を用いての操作研修

- ・質疑応答

午後「サピエ図書館から広がる図書館サービス」

講師：全国視覚障害者情報提供施設協会 サピエ事務局長

加藤 俊和氏（オンライン）

- ・サピエ図書館について

- ・障がい者サービスに必要なこと

- ・質疑応答

※講義後、視聴覚障がい者支援センターの見学

※点字図書館利用者登録・プレクストークの貸出手続き

②第2回

日時：令和4年2月4日（金）10:00～15:00

場所：徳島県立21世紀館イベントホール（会場＋オンライン）

参加：図書館職員、市町村教委、大学・高校図書館職員等 25名

内容：午前の部

テーマ「点字図書館と公立図書館等の連携について」

(1)事例発表

- ・「徳島県立図書館における障がい者サービスの取組み」

徳島県立図書館資料・児童担当課長補佐 中火 保江氏

- ・「徳島市立図書館における障がい者サービスの取組み」

徳島市立図書館副館長 廣澤 貴理子氏

(2)意見交換

進行：視聴覚障がい者支援センター 西條 美鈴氏

午後の部

(1)講演

「鳥取県における読書バリアフリーの取組みについて

～はーとふるサービスと今後の事業展開～」（オンライン）

講師：鳥取県立図書館情報相談課係長 福市 信氏

(2)サピエ図書館の利用の流れ（デモンストレーション）

担当：視聴覚障がい者支援センター 三井 貴浩氏



その他関連事業（ひろがる読書推進事業）

★高校生のための音訳講習会

日時：令和3年7月23日（金・祝）
14:00～16:30

場所：あわぎんホール5階 小ホール

参加：高校放送部員 4校12名

講師：視聴覚障がい者支援センター
平田 清美氏、伊澤 深雪氏

内容：デイジー図書について
専用ソフトを使った録音体験など



MEMO

成果指標		R 2	R 3	R 7目標
点字図書館のアクセシブルな書籍等 〈タイトル数〉	所蔵数	21,834	22.017*	22,834
	年間貸出数	7,175	6,313*	7,200
点字図書館のアクセシブルな書籍等のサピエ図書館への年間アップロード数		95	87*	100
県立図書館のデイジー図書・マルチ メディアデイジー図書 〈タイトル数〉	所蔵数	464	486	565
	年間貸出数	20	83	40
県立図書館の音声読み上げ対応電子書籍 〈タイトル数〉		333	388	433
点訳・音訳奉仕員の年間養成者数		20	8 (コロナ影響)	30
高校生の点訳・音訳講習会及び製作体験参加者数 〈累計〉 ※音訳講習会 12名 音訳図書製作体験 5名		—	17	100
サピエ会員（個人会員）登録者数		111	114	150
点字図書館の利用登録者数		729	725	850
点字図書館のアクセシブルな書籍等を利用するための端末機器の延べ貸出回数		8	11	50
公立図書館等へのバリアフリー図書セットの貸出件数 〈累計〉		—	—	50
図書館職員等への読書バリアフリー関連講座や 研修会の受講者数 〈累計〉 ※公立図書館等職員研修会（年2回） 37名 図書館サポーター養成講座 22名		—	59	150

*サピエ図書館休止期間（メンテナンス）の影響

資料④ 令和4年度の事業計画及び進捗状況

1 高等学校での音訳図書製作体験

※令和4年4月21日（木）13:00～ 高校放送部顧問会議（zoom）にて
「読書バリアフリー推進事業」の説明及び体験校（1校）の依頼

内 容：録音図書の製作に必要な知識と技術を学び、録音図書の製作を体験する。

実施期間：令和4年11月から令和5年3月までの間（予定）
全6回12時間

体験者：徳島県立鳴門高等学校放送部員等

会場：徳島県立鳴門高等学校

講師：視聴覚障がい者支援センター職員・音訳ボランティア

第1回	録音図書について
第2回	録音ソフトの操作方法①
第3回	録音ソフトの操作方法② 録音作業
第4回	修正作業① 校正作業
第5回	修正作業② 編集作業
第6回	録音図書CD製作完了

2 公立図書館等における読書支援機器・バリアフリー図書の利用促進

内 容：○デイジー図書再生機器の貸出（令和3年度整備）

○バリアフリー図書セットの整備・貸出

・音声デイジー図書、マルチメディアデイジー図書、点字図書等30タイトル程度を5セット整備

・ブックリストの作成

貸出対象：公立図書館、学校図書館、特別支援学校等

貸出方法：○公立図書館等における体験会等への貸出

○公立図書館等職員研修会等への貸出

周知方法：「バリアフリー図書セット」チラシ作成（別添参照）

★「図書館サポーター養成講座②」(ひろがる読書推進事業)への貸出

日時：令和4年8月6日(土) 9:45～12:15
場所：徳島県立総合教育センター 3階 研修室1
参加：読み聞かせボランティア、教員、特別支援教育支援員等 30名
内容：「視覚障がい等のある児童生徒への読書支援」
講師：視聴覚障がい者支援センター主任支援員 三井 貴浩氏

〈受講者の感想より〉

- 仕事で、肢体不自由や発達障がい、視覚障がいのある児童と日々関わっています。絵本を写真や動画に撮って、動画編集のアプリを用いて、声を入れて、手作りのデジタル絵本を作ったりしていますが、サピエ図書館にもそのような本があって、利用できると分かってうれしいです。
- サピエ図書館に、こんなにたくさん本があるとは知りませんでした。「わいわい文庫」(公益社団法人伊藤忠記念財団製作のマルチメディアDAISY図書)を子供たちに見せようと、パソコンからiPadに移す作業を先日教えてもらったところです。
- 特別支援学校に子供が通っていたつながりて、ボランティアで読み聞かせをしています。あらためて読書の苦手な子、あきらめてしまった子供たちへの支援の大切さが分かりました。自分ができることを続けていきたいと思います。
- 本屋に並ぶ本を全てサピエ図書館にアップすることを目標にしているという言葉に、とてもわくわくしました。
- ちょうど小4で点字を学習します。小学校にもお話に来て欲しいです。
- 学校で図書委員会の担当をしているので、子供たちと一緒に支援のお手伝いや体験を考えていくのも、活動の一つにしたいと思いました。
- 現在小学校で図書館サポーターをしています。サピエ図書館やバリアフリーコンソーシアムのHPなども活用して、学校の先生方に情報提供できるようにしていきたいと思います。



3 公立図書館等職員研修 年2回開催

①第1回研修会（予定）

日 時：令和4年11月10日（木）10:00～15:00

場 所：徳島県立障がい者交流プラザ 3階 0A研修室

内 容：

〈午前〉実習「サピエ図書館の具体的利用法」

- ・サピエ図書館を活用した公立図書館等の障がい者サービス
- ・リクエストに応じた点字・録音資料の検索、ダウンロード等

〈午後〉講演「国立国会図書館の障害者図書館協力サービスについて」

- ・視覚障害者等用データ送信サービス
- ・学術文献録音図書製作・提供等

講 師：国立国会図書館 関西館 図書館協力課 障害者図書館協力係
杉田 正幸氏

②第2回研修会（予定）

日 時：令和5年3月2日（木）10:00～15:00

場 所：徳島県立21世紀館イベントホール

内 容：

〈午前〉講演「読書バリアフリーを地域で進めるためのICT活用術(仮題)」

講師 愛知教育大学特別支援教育講座 准教授 相羽 大輔氏

〈午後〉テーマ「読書バリアフリーの現状と課題（仮題）」

～視覚障がい者等読書や図書館利用が困難な方々の立場から～

(1) 事例発表

- ・視覚に障がいのある方の読書について

発表者 徳島県立視覚支援学校 元教諭 藤本 篤子氏

- ・発達障がいのある方の読書について

発表者 特定非営利活動法人 オーティの会

理事長 濱田 正子氏

(2) 意見交換

その他関連事業について (ひろがる読書推進事業)

資料⑤

★高校生のための音訳講習会

日時：令和4年8月19日（金）14:00～16:30

場所：あわぎんホール4階 会議室2・3

参加：高校生9名

講師：視聴覚障がい者支援センター 平田 清美氏、伊澤 深雪氏

内容：デジ書について

専用ソフトを使った録音体験など

〈生徒の感想より〉

- デジ書というものがあるとは知らなかったし、専用の機器があることも初めて知った。色々な方法で本の内容を目の不自由な方々に届けようとしている人がいたり、取組があったりすることを知って、自分にも何かできることはないかと思った。
- 私は読書が好きで、目が見えなくなっても本を読む方法に興味があって参加した。耳からの情報だけで本のすべてを表すのはとても大変なことだと感じて、音訳をしている人はすごいと思った。
- 進路が全然考えられず、自分の興味があることを考えているところで、今回この講習会を教室の掲示で知って参加した。ボランティアなど、人を助けることがしたい。県外に行っても支援センターなどでボランティアをすることはできますか。
- 今回は主に視覚障がい者についての講習会だったけど、世の中にはもっとたくさんの障がいがあり、未だに支援してくれたりサポートしたりしてくれる人が少なく、困っている人もいるのでは、と思った。視覚障がいの方たちのための本はとても工夫されていて、私たち健常者でも読みやすいと思った。
- 特別支援の教員を目指しているので、普段の生活では関わることのない機器などにふれることができ、自分の将来にとっても役立つ活動ができた。障がい者交流プラザは家からも近いので、自分の知識を増やすためにもまた足を運びたいと思う。
- 音訳の世界を知ることができてとても楽しかった。「目の代わり」の仕事が、とてもかっこよく感じた。



★高校生のための点訳講習会

日 時：令和4年8月23日（火）14:00～16:30

場 所：あわぎんホール4階 会議室2・3

参 加：高校生23名

講 師：視聴覚障がい者支援センター 三井 貴浩氏

補助員：視聴覚障がい者支援センター 西崎 千尋氏

内 容：点字の基礎 点訳のルール（書き表し方・分かち書き等）
点字盤を使った点字体験など

〈生徒の感想より〉

- 小学校で一度点訳をしたことがあったが、今回は歴史も学んで、いろいろな人が点訳に関わって、より発展していくようにと願いを込めて活動してきたことを知り、本当にすごいことだと思った。将来、地域の発展・地方創生に携われるような職に就きたいと考えているので、そのひとつの経験となったことを非常に嬉しく思う。
- 点訳をするにあたって、ルールや50音を覚えるだけでなく、分かち書きのために、文節や自立語・付属語など国語的な知識が必要になるのは、とても大変だけど面白いなと思った。また、打った後の点字の感触が気持ちよくて、もっと打ちたいと思った。
- 講習会に参加するまでは点訳・音訳のことや、製作がボランティアによって行われていることを知らなかったのので、ボランティアに興味を持った。
- 私は言語に興味がある。だから、英語圏で使われる点字など、世界各国の点字についてとても興味を持った。点字はかな読みが重要であると知り、今まであたりまえに読みとばしていたものをそのままにはいけないと思った。



★県立図書館のバリアフリー図書も展示。（L.L.ブック、布の絵本、大活字本、録音CD・テープ、デイジー図書、マルチメディアデイジー図書、点字図書）

